

〔新垣善之議員 登壇〕

○2番 新垣善之君 ハイサイ、チュウウガナビラ。一般質問に入る前に少し挨拶をさせていただきます。今回の新型コロナウイルス感染症対策において、特に医療従事者を初め、保育園、児童など、緊急事態宣言が発出された中でも、また運送、配達、各業種において社会生活や生命を守るために従事してくれたことに敬意を表し、心から感謝申し上げます。また本町においても、特別定額給付金事業を専決処分にし、明日では、今まで一般質問の中で約90%の給付率があったということで、県内市町村の中でも早い支給ができたことは、企画財政課を初め、多くの職員の努力の結果だと思っています。本当にありがとうございます。また、町民の皆様も外出の自粛や3密を避ける行動を取ったことにより収束へとつながり、みんなが一つになりワンチームとして勝ち取ったものだと思います。まだまだ県内、国内でも少しずつ感染者が出ていますが、予断の許さない状況であります、また皆さんで、一丸となって対策に乗り出していきましょう。ありがとうございます。それでは通告書どおり一般質問を一通り質問した後、再質問をしたいと思います。

まず1番目に、新型コロナウイルス感染症対策の評価と課題を問う。(1)対策本部設置後の各部の取組とその評価、課題は何か。(2)町民や事業所、業種別における支援は、全てに行き届いているか。(3)第2波(医療、福祉、保育、教育、経済、財政など)に備えているか。(4)給付金送金の即効性、仕事の効率化、感染防止対策、教育の維持向上などにおいて、各課でのICTの導入は必須と考えるがどうか。

大問2、子ども地蔵の保全・管理の協議を。(1)1964年(昭和39年)劇団たんぼぼ観劇のため、移動中に南風原町の小学生3名が事故に遭った。事故現場に劇団たんぼぼより子ども地蔵が建立された。現在、与那覇保育園が保全・管理をしているが、後世に交通安全の意識が持続できるよう、設置場所も含めて検討できないか。(2)56年前の事故を風化させないためにも、子ども地蔵を交通安全教育に生かせないか。

大問3、北丘小区の交通安全を問う。(1)北丘児童館周辺、北丘小から北丘ハイツ側へ下りる階段周辺の道路へ、児童の安全を確保できる対策を取れないか。以上、お願いします。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 では、質問事項1点目の新型コロナウイルス感染症対策の評価と課題を問うの(1)についてお答えします。国、県が示す方針等に沿った取り組みを適宜行ったことから、感染症拡大防止につながっていると評価をしております。現時点での課題は特にありません。

(2)についてお答えします。商工会とも連携し、支援が全てに行き届くよう努力をしてまいります。

(3)についてお答えします。各部署において第2波への対策に備えております。

(4)についてお答えします。本町では、以前から入札参加登録や施設予約についてオンラインでの申請を行い、住民の利便性や業務の効率化を図ってまいりました。また、特別定額給付金では給付の即効性のためオンラインでの申請を最も早い5月1日より開始い

たしました。さらに仕事の効率化や感染防止対策としてオンライン会議（Web会議）の検証を行い、環境整備を検討しており、今後もICTの導入において費用対効果も含め検討してまいります。また、教育委員会においてもタブレットPC端末整備に向けて取り組んでおり、オンライン学習等の検討をしてまいります。

質問事項2点目の子ども地蔵の保全・管理の協議をの、（1）についてお答えします。今後の保全、建て替え、場所移設について関係者の方々と協力し検討してまいります。

（2）についてお答えします。与那原署と連携し、交通安全教育に生かせないか検討してまいります。以上です。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 質問事項3の（1）についてお答えいたします。安全対策といたしまして、児童生徒が安全に登校できるよう、PTAの皆様、それから地域の方々のご協力の下、安全対策を行ってまいります。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 それでは評価と課題についてですが、今回、国からの交付金において新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金をもとに事業計画を立て、町としても16項目の事業を展開し、これから可決されればですけれども展開し、老若男女、各企業、広い幅において支援ができるという、この町行政の、しっかり町民目線で取り組んでいただけに感謝申し上げます。また今後は、防災だけではなくて、防感染症、防疫であったり、様々な対策をしていかなければいけないと思っております。私、体育系からすると、今回は新型コロナだけの対策だったかもしれませんが、それがダブルパンチで来た場合にどう対応するか。例えば先々週も夜中の1時に震度2、3のちょっと強めの地震がありました。大雨もこの梅雨時期にありました。そういったものが重なった場合に、コロナも含めて、避難場所も含めてどう対応していくのかというのが、強い相手に対してどう町側が対策に乗り出していくのかというのも私は課題だと思っているので、例えば、先ほどみゆき議員からもあったように、避難所の取組に関してガイドラインはどう示されていますでしょうか。

○議長 知念富信君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 現在、避難所のガイドラインについては、今、国から示されております。また新しい生活様式等が出されていますので、そのほうを参考にしながら、これから取り組んでいきたいと考えております。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 先日、美ら海水族館からはがきが届いて、水族館の中も密になりや

すい、密閉な空間ですので、それを避難所と例えた場合に密になりやすいと。美ら海水族館のQRコードがついていたんですけども、今の時間帯混雑していますよとか、QRコードで示せるような、そうすればどここの避難所、13避難所があると聞いていますが、そこに配置、人員をどこどこ空いていますよ、今混雑していますのでほかの場所へ移動してくださいみたいなものをですね、それをLINEで送ったり、防災無線でやったりというような取組も必要ではないかと思いますが、いかがですか。

○議長 知念富信君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 答えいたします。今、議員提案がありましたけれども、あらゆる方策を検討しながら、今後の計画を立てていきたいと考えております。また、収容避難所も今13カ所ということでありましたけれども、一時避難所として自治会等ありますので、そういったところも密にならない方法といいますか、そういうのも検討しながら今後計画に生かしていければと考えております。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 それでは、今回のコロナ対策によって外出を自粛、学校においても自宅待機ということでありました。その中で自宅でのDVであったり、虐待であったりとか、報道されていますが、本町においてはそういった報告がされているのか、どうでしょうか。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 儀間博嗣君 答えいたします。このコロナ感染対策の期間中、DVなどといったようなものが特段目立ったわけではなくて、子供たちが学校に行かなくなったことによる家庭での支援というものが非常に多かったというふうに我々のほうは統計をとっております。ちょっとこの相談件数は今すぐ手元にはないんですが、DVのほうについては、相談があったものについて直接のDVではなくて、子供たちとの関連性によって夫婦間でその在り方についてトラブルがあって、それについての内容についての相談があったというふうには確認をしております。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 課長のおっしゃるとおりで、我が家でも、ここまで我が子にちゃんと目を向けていなかった自分がいて、そうだったね、一人一人前年度の学年が終わってね、次どうしてこうねという、改めて評価して課題が、子供たちの再評価ができてきて、いい機会ができたなど。また家の中でも断捨離したり、縫い物、マスクを作ったり、料理もしてみようかということで改めて家庭教育の大切さを知った期間じゃなかったかなと思いました。そういった取組を学校教育でも、今皆さんマスクをやっていますが、5年生から

家庭科で縫い物などがあるのかな。そこでかりゆしウエアでなくて、かりゆしマスクをみんなで、南風原町特産のかりゆしを使った縫い物をやってみようかとか。体育では、私は体育なんですけれども、家でできるストレッチ、ヨガ、体力のトレーニングというのを、今の時期でできる、また自粛になった場合のことを想定した学校教育の在り方も必要と考えますが、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 学校においても、休業期間中に子供たちが家庭でできるようなストレッチとか、そういうものが、国から示しているような資料を配布したりとかもやっております。マスクの手作りの方法についても、ある学校では簡単に作れるマスクの方法というのを印刷して、子供たちに配布をしたりとか、そういう対応はしております。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 それでは、あとは町と、医療機関との連絡の取り合いというのはどういうふうにされていたでしょうか。

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩（午後1時16分）

再開（午後1時16分）

○議長 知念富信君 再開します。民生部長。

○民生部長 知念 功君 お答えします。まず、こういった感染症の対策の場合には、国が対策本部を設置しましたら、県も対策本部を設置して、都道府県がそういった対策の実施主体となってまいります。そして医療の提供体制も都道府県がしっかり担ってきました。沖縄県においてもそのような体制を取られておりました。都道府県プラス保健所を設置している市ですね、沖縄県の場合でしたら那覇市というふうになります。本町の場合でしたら南部保健所の管轄ということになりますので、そういった医療の提供とか相談体制とかに関しましては、南部保健所が担っております。我々としては、町に関する情報、町内の発生状況とか、そういった部分については機会が、必要があるときに問合せをしたり、そういった感じで問合せができることはありましたが、だんだん県内で感染者が増えていきまして、保健所のほうも相当な対応を取らないといけない状況になっておりましたので、その後は県から公表される情報を基に町は対策を取ってきたという状況でございます。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 それでは、この評価と課題では、我々町民側に立っていくと、町は

どれだけの、この自粛期間に対策、支援的な給付金があるのか、支援金があるのかというのが、もう自粛していて、仕事にも行けない、給料があるかないかも分からないということで不安、やっぱり心理的な不安がどうしてもあって、そこを少しでも解消していかなければいけないと思うんですね。そうした場合に、本来ならば議会に予算が可決して、どういった事業がありますよというのがあるんですけども、やはり何というか、町民を安心させる、コロナウイルスに対する不安感、恐怖感というものから、大変だ大変だとなっている心理状況を回避するためにも、町としても何かしらの発信ができればと思っているんですけども、それに関してホームページだったり、LINEであったり。今回のLINEではホームページやテイクアウト、防災、読み聞かせといった、いろいろ町から発信している部分があるんですけども、住民の皆さん、こういった支援もありますよという、安心感を持たせた取組も必要じゃないかなと思います、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 ホームページに新型コロナウイルス感染に係る特設コーナーを設けまして、そこには感染症の状況や、また支援、県からの融資とか支援とか、そういったものを特設コーナーを設けて周知しているところであります。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 ありがとうございます。やっぱり、また新たな、相手が出てきた場合に、本当にいつもの訓練をやっている、練習の成果が見えるような町行政になっていますので、そこをいかに素早く自粛する、企業の社会経済はストップするかもしれませんが、そこを町長のリーダーシップで収束に向かっていくわけですから、結果が出ているので、そこもまた新たに、新たなもの、強敵が出てきた場合の対応もやってほしいなと思います。

次、(2)では、全ての商工会とも連携して、今言ったようなLINEでのテイクアウトの事業であったり、いろいろ町内の事業者が、経済がとまらないような取組もされているということでありました。あとは民立民営で学童をされている方もいて、その方はやはり、学校が閉まっている間は開けないといけなかったんですけども、そういった方々も消毒液だったり、マスクだったり、扇風機だったり、いろんなコロナ対策をしながら、自分自身で借入れをしながらやっていると聞いていますけれども、そこら辺もまた、今後の課題ですけども、隅々までもっともっとアウトレイジかけながらやっていけるといいなと思います。

(3)ですが、第2波に備えるということで、福祉的な観点からいいますと、独居高齢者や妊婦、子供、幼児もいますが、今回6月4日に、新たに我が家に第4子も誕生しましたが、安心して生活、妊婦が、妻が生活できたというのもやっぱり町行政のこういった自粛から、スーパーも何時から何時まで妊婦は買い物していいですよとか、そういった取組がみんなでなされていたので安心して出産ができました。あと第2波、財政面においてですけども、今後学校も夏休みが短縮されると聞いていますが、その夏休み期間、例えば7月20日から8月31日まであったのが10日間と、学校のクーラー代とかに響いてくるんじ

ゃないかと思いますけれども、そこら辺は交付税とか下りてくるんでしょうか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 学校の光熱費の増減によって交付税が増減することはありません。しかし、必要な経費についてはしっかりと対応して、財政的な対応をしまいたいと考えております。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 今現在はクーラーはついていますが、稼働していますか。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 現在は、その日の気温に応じて…、稼働しております。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 ありがとうございます。第2波に備えて、またそれぞれの部署部署でチェック体制ですね、また備えて頑張っていきましょう。

次に（４）給付金送金の即効性であるんですが、私の考えは、やっぱり困っている、すぐにでも欲しいという時には、マイナンバーカードと口座はひもづけてもいいのかなと。一つの口座ぐらひもづけておいて、そこを国から町へ通知が来た場合に、すぐマイナンバーと口座とひもづけられていれば、そこは町の中で確認はできているわけで、今、国でも議論の最中ではありますが、そうすることによって今回、企画財政課がやってきた労力も少しは緩和できるんじゃないのかなと思います、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 企画財政課長。

○企画財政課長 与那嶺秀勝君 お答えします。現行の制度では給付金送金のためのマイナンバーと口座のひもづけはできていないことになっています。現在、国のほうで検討されているひもづけについて、その辺、注視して検討していきたいと考えています。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 法人、企業に関してもその法人カードを作って、例えばですよ、作って、その損益計算書であったり売掛計算書であったり、そういったものもこのカードに全部把握されていれば、誰々が従業員休んでいますよ、持続化給付金必要、雇用助成金が必要というのを一括で一体化できれば、一元化できれば、もっと楽に給付ができるんじゃないかなと思いますけれども、そういったところはまだまだ先の話なんでしょうか。

○議長 知念富信君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城克彦君 今言っている住基カードについては、人がいるので住民課のほうで住基カードに登録していればできると思いますけれども、法人については、私の知り得る限りそういう制度はありませんのでできないと思います。以上です。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 やっぱりそういった即効性が個人にでも、企業、法人でもありますので、どうか、私の理想かもしれませんが、そうなっていくと社会経済、個人個人の生活の消費であつたりがもっと安定できるんじゃないかなと、心理的にも安定していくんじゃないかなと思います。あとは教育に関して、それぞれの家庭で今回は家庭教育が行われていましたが、やっぱりいろんなところでリモート、ICTの端末を使ってフェイストゥーフフェイスで確認ができるとか、そういったGIGAスクールと称したパソコン、タブレットなどの教育が進んでいますけれども、将来的には1人1台持ち、家で自粛ができた場合には、学校とのつながりができるんじゃないかと思いますが、これもGIGAスクールもまだまだですか。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 議員のおっしゃった、これから導入に向けて今検討を行っているところでございます。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 やはり今回のコロナ感染症でも人との接触であつたり、密を避けるであつたり、あらゆる行動制限がされる中で、こういった心の安定と生活の質を変えずに生命の維持管理ができるのか、それがもう、でも今回は結果的に、本当に町長のリーダーシップから町民の生命と財産を守る行動ができたと私は思っておりますので、評価するべきだと私は思います。次、大問2に移りたいと思います。

子ども地蔵の保全・管理ということで、この子ども地蔵を知っている方はほとんど少ないんじゃないかなと思います。この子ども地蔵は以前、平成18年まで南風原町与那覇のキンボシ屋と西崎自動車のほうにあったんですけども、平成18年度に、国道の拡張のために一度撤去されたそうです。私たちが小学生のときにも教育長を初め、生涯学習振興課長、総務課長もご存じかと思いますが、必ずあそこを通るときには、幾ら急いでいようがお地蔵様に手を合わせて帰ったんですね。ポケットに何かあめ玉でもあれば、必ず置いて、いつも交通安全を見守ってありがとうございますということを先輩が示していたので、行動で。それを我々後輩もずっとやっていた経緯があります。でもいつしか、私が大学から帰ってきて、なくなっていて、最近になって経緯を聞きました。平成18年当時の劇団たんぽ

ば、支部長の方が拡張のときに自宅に持ち帰って、その後、翌年の平成19年、与那覇保育園の方が園に置いてもいいよと、そこに情操教育であったり、いろいろ活用できる面があるはずだからということで、今、与那覇保育園のほうに祀られています。これは相談を受けたのも3週間ぐらい前で、平成19年に与那覇保育園に祀られたときには木造の建具で祀られていて、もう今12年たっていて、結構見るとぼろぼろで、下も今にも落ちそうぐらい老朽化していました。これを沖縄支部の劇団たんぼぼと南風原町、当時南風原教育委員会も南風原小学校から劇団たんぼぼを見るために交通指導しながらということで、委員会も関わっていたと思います。また南風原町の交通安全協会や与那覇保育園、与那覇自治会も一緒になって、この子ども地蔵の在り方を検討してもいいんじゃないのかなと思いました。今日たまたま琉球新報の社会面を見ていましたら、劇団たんぼぼの掲載があったんですけれども、存続をかけて資金を募るということで、県内で3,000公演もされていて、「善之、お前、ワッタームン、私たちのこともちゃんと言ってこいよなー」みたいな感じで乗せてあるのかなと、ちょっと不思議な縁を感じてですよ。やっぱりこのコロナの影響で芸能、文化活動も自粛されて、クラウドファンディングを立ち上げて基金を募り私たちが活動するんだよということを書いてあったんですけれども、南風原町でも芸能活動、文化活動を続けるためにも、過去に子供が犠牲になったことも含めて今後協議をしていただきたいなと思いますが、いかがですか。

○議長 知念富信君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 お答えします。ただいま議員からあったとおり、私のほうも子ども地蔵は記憶しております。今回、議員からご相談が、区長も一緒に来ていただいて状況をお聞きしました。それで実際現場のほうに行って今の状況を見てきたんですけれども、議員おっしゃるようにほこらのほうが、屋根に穴が空いていて、床も抜けそうだということがあって、たまたま副園長もいらしたものですから、今までの、先ほどあった経緯のほうも説明していただいたんですが、園長先生の話からは、今一番心配しているのはほこらの修繕が必要だと。台風とかで床が落ちてしまうんじゃないかということがありました。特に移動に関してはまだ急ではないんですけれども、あちらも建て替えとか、そういったことも懸念されるので、本来であつたら場所をちゃんと確保していただけないかという話もありました。ですから、今議員がおっしゃったとおり自治会、また交通安全協会、私たち総務のほうで見ていますので、そちらと。あと先ほどありました県のほうにもたんぼぼ劇団の沖縄支部があるということもお聞きしておりますので、まず初めにこのほこらの修繕を何らかの形で一緒に連携していければと考えておりますので、協力していきたいと考えております。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 ありがとうございます。当時、昭和39年、昭和26年生と聞きました。町長と同年生の方ですので、その当時の思いであったり、また、今総務課長がおっしゃった前向きに進めていくという答弁も含めて一言いただけないでしょうか。



○議長 知念富信君 町長。

○町長 赤嶺正之君 お答えいたします。確かに劇団たんぼぼを観劇に行く途中で交通事故がありまして、南風原小学校の当時6年生ですか、2人の同級生が犠牲になりました。そのとき私も事故の現場から約100メートルほど後方を歩いておりまして、今でも当時の状況を思い出します。多分、宮城寛惇議員も恐らく覚えていらっしゃると思いますけれども、そういうことで、これはできるだけ多くの皆さんに知っていただいて、この交通安全をずっとみんなで守っていこうというふうな、一つのきっかけにしないといけないだろうなと思っておりますので、先ほど担当課長から答弁がございましたが、町として、あるいはまた私町長として、可能な限り、可能な範囲で協力をしてまいりたいと。交通安全協会も町の案件を、町長が会長でございますので、交通安全協会を全面に出すというか、なかなか行政として携われない部分もございますので、協会を全面に出して、何とか町として関わっていききたいなというふうに考えております。わかりました。以上です。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 ありがとうございます。

続きまして(2)ですけれども、その事故を風化させないためにも交通安全教育として、毎年小学校1年生には交通安全教育をしていると思います。その中で、子ども地蔵のことも話しながら、交通安全の、命を守る大切さ、交通安全をしていくという思いも含めてやっていけると思いますので、これも前向きに検討してよろしくをお願いします。

最後に北丘小区の交通安全を問うということで、初めは北丘児童館周辺なんですけれども、ここも寿スイミングのところから出る車と、建設会社の土地があるんですけれども、そこから見えにくいので、車がちょっと前に出ないと右折帯が確認できないと。それで前に出るものですから、子供たちが来てもスピードが速くて、子供たちもヒヤリ・ハットする面があるので、そういったところのゼブラ線というのか、ハンプでもいいのか、バンプでもいいのか。あとは北丘小学校側から来るカーブのところと、その建設会社のヤードの、横断歩道があるんですけれども、そこも北丘小学校から来るカーブも横断歩道が見えなくてですよ、そういった減速を促せるような取組がなされないかと思いますが、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 答弁させていただきます。ただいま議員がおっしゃっている路線については町道3号線かと思いますが、私も幾度と現場を通っております。危険だなという認識は持っております。対策としましては、現在ゼブラとして、現場のほうで表示されているようです。さらに今おっしゃっているとおり、何らかの画面表示ができないかどうか、速度落とせとかですね、それなりの表示ができないかどうか検討してまいります。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 ありがとうございます。北丘児童館のほうでは宮平区のPTAが輪番制で交通誘導に立つようになっているんですけども、片や北丘ハイツの階段下のほうには北丘ハイツ自治会の老人クラブ、交通見守りパトロール隊が毎朝立って交通安全をしていただいております。とても感謝でいっぱいです。そこもやはり、上からのラインと、下から上ってくるラインとですね、車が右往左往して子供たちが道を渡れないという現状があるのかなと思いますので、そこも何らかの減速であったり、安全に登校ができるような取組ができないかと思いますが、そこもいかがでしょうか。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 仲里 明君 答えいたします。今回の議員がおっしゃっているところについては、町道235号線というふうに認識しておりますけれども、その路線についても道路管理者としては現場を調査して、多分道路幅員が6メートルほどあるようですので、対応としましては側線の設置、歩行者の誘導していくようなスペースを確保していくとか、あとは注意喚起をするとか、あとはゼブラで少し駐停車を避けてもらうとかという方法は考えられますので、その件に関しては教育部局と協議をしながら進める必要性があるのかなというふうに認識していますので、その対策も兼ねて対応していきたいと思っております。以上です。

○議長 知念富信君 2番 新垣善之議員。

○2番 新垣善之君 ありがとうございます。今回、コロナ対策から子ども地蔵、交通安全、3つ質問しましたが、これからも町民の生命、財産をしっかり守っていける南風原町づくり、今後とも町行政においても、本当に感謝しておりますので、またみんなで、町民一丸となって、ワンチームとなってコロナ対策であったり、防災だったり一緒に切り抜けていきたいなと思います。今日はありがとうございました。